

保育者養成年報 発行に寄せて

幼児教育学科長
笹井 弘

平素より本学幼児教育学科の教育活動に対してのご理解とご協力に感謝申し上げます。
ここに年報第9号をお届けいたします。

本学には35年前に開園した附属幼稚園があります。1973年の短大開学から5年後の1978年のことです。短大学舎の南側に隣接し定員は各年齢70名、その園児たちは短大と同じ敷地内の雑木林からなる裏山を毎日昇り降りして元気よく遊んでいます。保育者と園児たちがそこで野の草を摘んだり鬼ごっこをしたり、秋にはどんぐりや落ち葉で造形をします。家族も来てみんなで焼き芋大会もします。冬は雪合戦やソリすべりなどを楽しんでいます。また、毎年、学内のコンサートホールを利用して地域で活躍している音楽家を招いてコンサートを行い、春の日差しを楽しみながら、学内を皆でお散歩もします。学生たちは、保育者と子どもたちの関わりや子ども同士が仲良く遊ぶ姿や時にはけんかをする姿を日常的に見ることができます。加えて、授業として附属幼稚園でのプレ実習や野外活動の補助、園児を招いてのお店屋さんごっこなどを実施しています。さらに、ボランティアとして運動会のお手伝いや造形活動のお手伝いなどを推奨しています。

附属幼稚園の存在は、幼児教育学科が掲げる「子どもたちを間近に見ながら、生きた保育を学ぶ」ために大変貴重な環境を提供してくれています。当たり前にあるこの恵まれた環境を再認識し学生達により多くの交流機会の提供することで、学生達が日々成長する子どもたちの姿の把握ができ、臨機応変に適切な援助ができる保育者に育って欲しいと願っています。これからも附属幼稚園との新たな交流機会の創出に努めていく所存です。

今後も関係各位のご理解と一層のご協力を合わせてお願いいたしまして、保育者養成年報発行のご挨拶とさせていただきます。

平成27年3月